

# えんどう豆栽培方法

種まき10月中旬~11月中旬

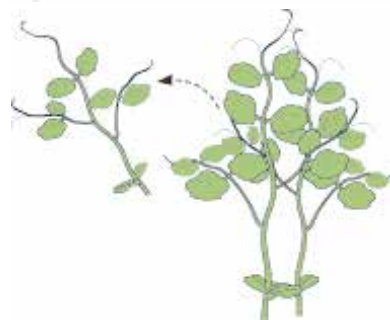
## 1 種まき・間引き

ふつうは秋まきだが、寒冷地では春まきする。また連作を嫌う代表的な野菜なので4~5年マメ科を作っていない場所を選ぶ。花のスイートピーも同じマメ科なので注意。菜園はあらかじめ1m<sup>2</sup>当たり苦土石灰100g、たい肥1kg、化成肥料50g、溶性リン肥50gを施し良く耕しておく。さらに図のような1m幅のうねを作り、タネを30~40cm間隔に3~4粒まいてゆく。

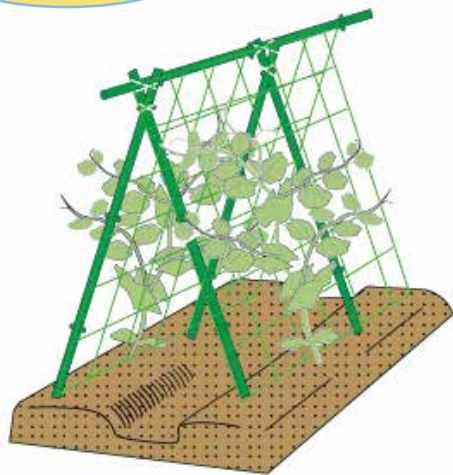
草丈7~8cmになった頃、勢いの良い2本を残して間引きする。間引きした苗は豆苗(トウミョウ)として料理に利用できる。またエンドウは大苗より小苗の方が寒さに強いので、草丈10cm位で冬越しさせるとよい。苗の北側の土を高くして北風を防いでやると冬越ししやすい。

株間  
30~40cm

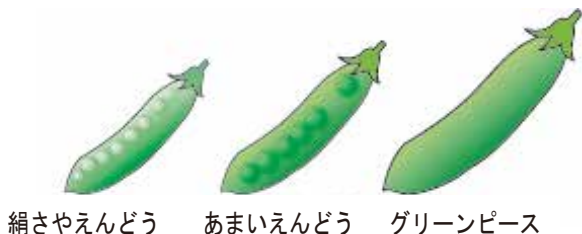
うね幅  
1m



## 2 支柱を立てる



エンドウは茎が細いわりに分枝が多く、風で振り回されやすいので、早めに支柱を立てる。つるなしの品種でも簡単な支柱を立てた方が無難。



絹さやえんどう

あまいえんどう

グリーンピース

## 3 収穫期の目安

花が咲いてきたら1株当たり50gの化成肥料を施す。絹さやえんどうはマメが育たないうちの若さを、あまいえんどうなら中の実を少し育ててから、グリーンピースなどの実採り用は中の実を完全に育ててから収穫する。



2~3日おきが収穫の目安。  
可憐な花も楽しむことができる

エンドウは茎が細いわりに分枝が多く、風で振り回されやすいので、早めに支柱を立てる。つるなしの品種でも簡単な支柱をしたほうが無難